

リサーチ部 庵原 浩樹 増淵 透吾

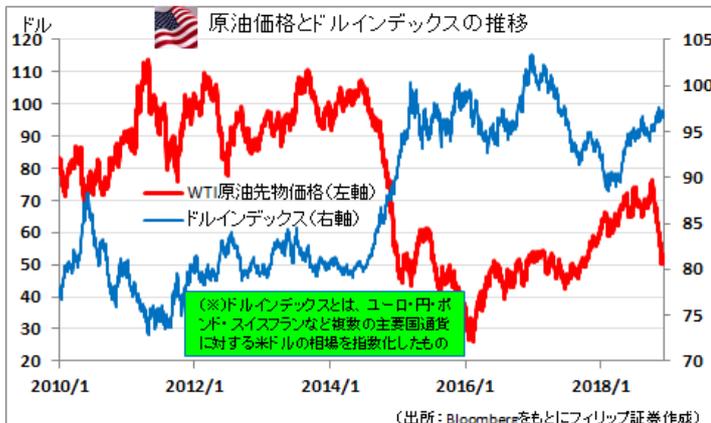
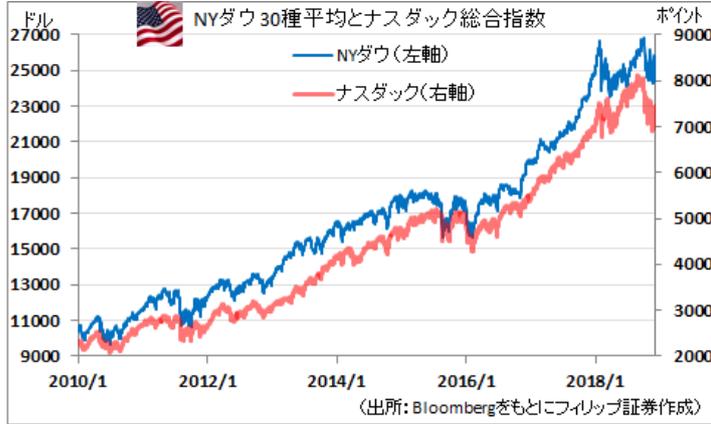
Tel: 03-3666-2101

E-mail: hiroki.hara@phillip.co.jp togo.masubuchi@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2018年12月11日号(2018/12/10 作成)

### Report type: ウィークリーストラテジー



### “好業績・優良銘柄、好配当銘柄は投資の好機！”

10月初旬の長期金利上昇をきっかけに、10/3に26,951.81ドルの最高値をマークした NY ダウは10/29に一時24,122.23ドルまで下げ、この18営業日で約2,830ドル(10.5%安)もの下落となった。11月に入って26,300ドル近くまで戻す場面もあったが、その後24,200ドル台から26,000ドル弱の広いレンジの展開となった。12/7、NY ダウは3日続落し、前日比558.72ドル下落(同2.24%安)の24,388.95ドル、ナスダックは同219.01ポイント下落(同3.05%安)の6,969.25と急落。米中貿易摩擦が再び激化し、長期化するとの見通しや景気と金融政策の不透明感などが相場を押し下げた。

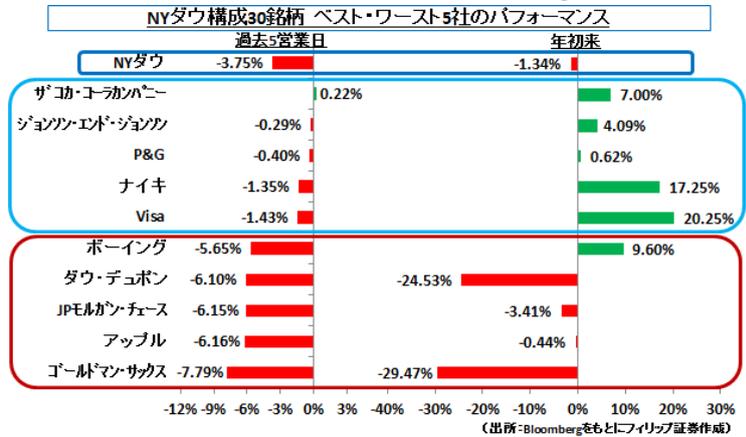
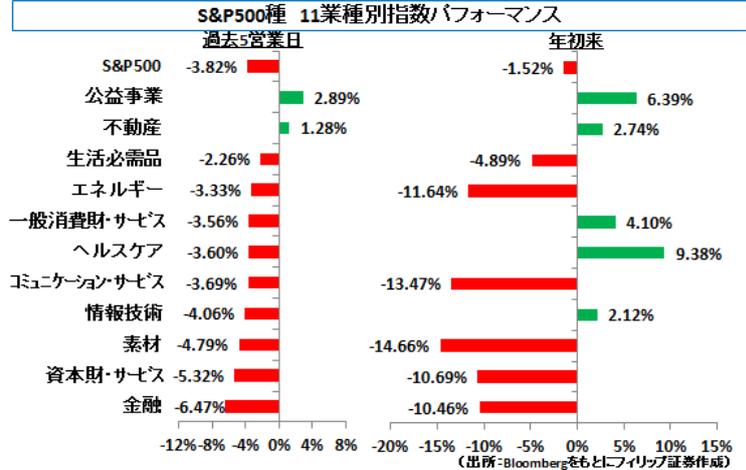
12/3にトランプ大統領は、米中通商協議の統括責任者に対し中強硬派のライトハイザー(USTR(通商代表部)代表)を指名。そうした状況下、12/6にスマホ販売で世界トップ、中国の通信機器最大手ファーウェイの創業者の娘で、同社副会長(CFO)である孟晩舟氏がカナダで逮捕された。ライトハイザー代表は12/9、CBS テレビで、90日間の交渉期限を堅持し、その間に合意が結ばれなかった場合に中国製品の制裁関税を引き上げると表明。2,000億ドル(約22.5兆円)相当の中国製品に、現在の関税率10%を25%に引き上げることになる。ライトハイザー代表は、ファーウェイの CFO 逮捕は刑事司法の問題であり、米中の貿易交渉にはあまり影響を与えないだろうとコメント。ただ実際には、市場参加者が、当該逮捕を通商問題と切り離して見るとは到底考えられず、市場の先行きに強い懸念材料が加わったと考えるのが妥当であろう。

10月初旬以降、VIX が正常範囲の上限となる20を超えて推移しており、当面幅の大きい相場展開が予想される。5年国債利回り(2.69%)と2年国債利回り(2.71%)の逆転(逆イールド=長短金利の逆転)や10年国債利回り(2.84%)と2年国債利回りのスプレッドが13bpとそれまでの25bp 程度から大きく縮小し、パウエル FRB 議長による政策金利が中立金利に近付いた旨の発言と相俟って、金利動向及び金融政策と景気の先行き不透明感が市場参加者の心理を一段と悪化させていると思われる。

ただ、10年国債利回りが2.8%台の一方、NY ダウの配当利回りは Bloomberg 集計による12か月予想ベースで2.55%、PER は、Bloomberg 集計の2018/12期予想ベースで15.27倍、2019/12期予想ベースで14.03倍である。株式益回り(PER の逆数)は、6.5-7.1%程度に相当し、金利水準から見て米国株式市場は割安水準にあると考えられよう。好業績・優良銘柄、好配当銘柄の他、マイクロソフト(MSFT)など一部ハイテク銘柄も、全体相場が調整する中、投資のチャンスにあると考えている。(庵原)

12/11号ではアレクシオン・ファーマシューティカルズ(ALXN)、ブロードコム(AVGO)、ファイブ・ピロウ(FIVE)、FMC(FMC)、マイクロソフト(MSFT)、ベライゾン・コミュニケーションズ(VZ)を取り上げた。

### ■S&P500 業種別および NY ダウ構成銘柄の騰落率(12/7 現在)



### ■主な企業決算の予定

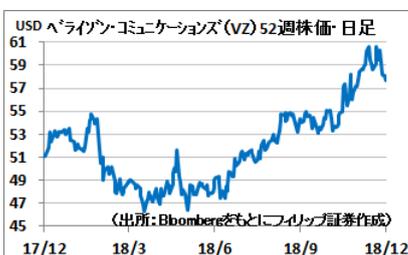
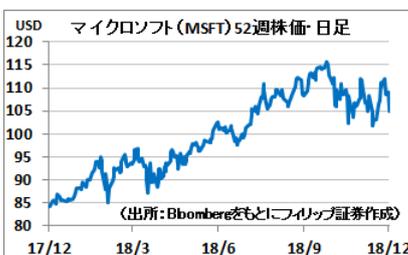
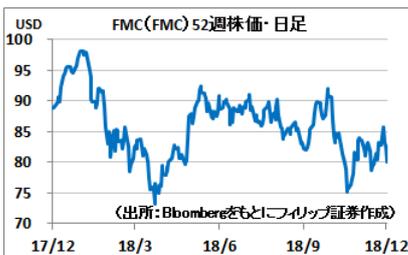
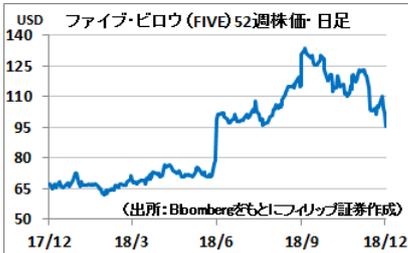
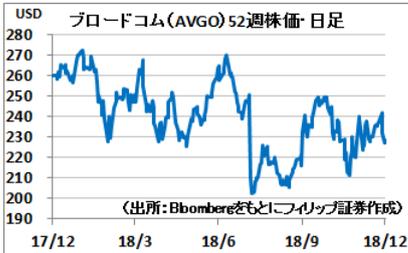
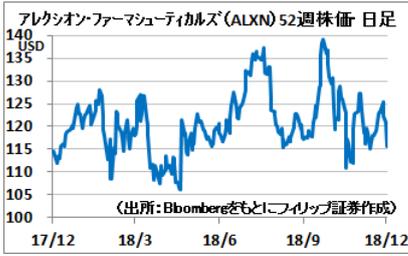
●12月13日(木): アドビ、コストコホールセール

### ■主要イベントの予定

- 12月11日(火)
  - ・グーグルのピッチャイ CEO が下院公聴会に出席
  - ・11月生産者物価指数
  - ・英下院、EU 離脱合意案巡り採決、英 10月 ILO 失業率(3ヵ月)
  - ・独 12月 ZEW 景気期待指数
- 12月12日(水)
  - ・ブラジル中銀、政策金利発表
  - ・11月消費者物価指数
  - ・11月月次財政収支
  - ・ユーロ 11月圏鉱工業生産
- 12月13日(木)
  - ・新規失業保険申請件数(8日終了週)
  - ・11月輸入物価指数
  - ・欧州中央銀行(ECB) 金融政策会合・記者会見
  - ・EU 首脳会議(ブリュッセル、14日まで)
  - ・IEA 月報
  - ・トルコ中銀、政策金利
  - ・フィリピン中銀、政策金利発表
  - ・独 11月 CPI(改定値)
- 12月14日(金)
  - ・11月小売売上高(速報値)
  - ・11月鉱工業生産
  - ・10月企業在庫
  - ・欧州 11月新車販売
  - ・ユーロ圏 12月製造業 PMI(速報値)
  - ・ユーロ圏 12月サービス業・総合 PMI(速報値)
  - ・ロシア中銀、政策金利発表
  - ・中国 11月小売売上高、工業生産、固定資産投資

(Bloomberg をもとにフィリップ証券作成)

■ 銘柄ピックアップ



- ◇ **アレクシオン・ファーマシューティカルズ (ALXN) 市場: NASDAQ...2018/2/7に2018/12期4Q(10-12月)の決算発表を予定**
  - ・1982年設立のバイオ製薬企業。補体阻害分野のグローバルリーダーで、発作性夜間ヘモグロビン尿症、非典型溶血性尿毒症症候群、低ホスファターゼ症などの治療薬を提供する。
  - ・10/24発表の2018/12期3Q(7-9月)は、売上高が前年同期比19.5%増の10.26億 USD、純利益が同4.2倍の3.30億 USD。調整後EPSは2.02USDと市場予想の1.75USDを上回った。全身型重症筋無力症向けを中心に終末補体阻害剤の「Soliris」の売上高が同18%増と伸長した。
  - ・通期会社計画を上方修正。売上高を従来計画39.80-40.10億USDから40.20-40.50億USDへ、調整後EPSを7.00-7.15USDから7.45-7.60USDへ引き上げた。通期市場予想は、売上高が前期比14.3%増の40.58億USD、当期利益が同56.7%減の1.92億USD。同社は12/1-4の米国血液学会で、ALXN1210の第I/II相用量漸増試験において有意な結果を得たと発表。(増測)
- ◇ **ブロードコム (AVGO) 市場: NASDAQ...2019/3/14に2019/10期1Q(11-1月)の決算発表を予定**
  - ・1961年設立のブロードコムを半導体大手のアバゴ・テクノロジーが2016年に買収し、社名はブロードコムに変更。無線およびブロードバンド通信向け半導体製品などを製造販売する。
  - ・12/6発表の2018/10期4Q(8-10月)は、売上高が前年同期比12.4%増の54.44億USD、純利益が同2.1倍の11.15億USD。調整後EPSは5.85USDと市場予想の5.56USDを上回った。ネットワーク、エンタープライズ・ストレージ、ワイヤレス、産業向け機器などで需要が旺盛だった。
  - ・2019/10通期の会社計画は、売上高が245億USD、調整後営業利益率が51%。合わせて増配も発表。四半期配当を1.75USDから2.65USDへ引き上げた。2019/10通期市場予想は、売上高が前期比17.5%増の244.96億USD、当期利益が同66.0%減の41.68億USDである。(増測)
- ◇ **ファイブ・ビロウ (FIVE) 市場: NASDAQ...2019/3/20に2019/1期4Q(11-1月)の決算発表を予定**
  - ・2002年に設立した廉価商品専門の小売業者。10代をターゲットに幅広い商品を5ドル以下で販売する「Five Below store」を展開する。店舗数は米国33州で745店舗(2018/11/3時点)。
  - ・12/5発表の2019/1期3Q(8-10月)は、売上高が前年同期比21.6%増の3.12億 USD、純利益は同36.8%増の1,351万 USD。売上高は会社計画の3.01-3.04億 USDを上回った。既存店売上高は同3.6%増と会社計画のレンジ内。EPSは0.24USDと市場予想の0.19USDを上回った。
  - ・通期の会社計画を上方修正。売上高を従来計画の152.8-154.0億 USD から155.0-155.7億USDへ、既存店売上高を前期比2.5-3.0%増から同3.3-3.7%増へ引き上げた。通期市場予想は、売上高が前期比23.2%増の15.74億 USD、当期利益が同45.1%増の1.48億 USD。(増測)
- ◇ **FMC (FMC) 市場: NYSE...2019/2/11に2018/12期4Q(10-12月)の決算発表を予定**
  - ・1927年設立の特殊化学品メーカー。農業ソリューション事業とリチウム事業を展開。主力である殺虫剤、除草剤、殺菌剤など農業のほか、リチウムポリマー電池向けリチウムも手掛ける。
  - ・11/5発表の2018/12期3Q(7-9月)は、売上高が前年同期比60.3%増の10.35億USD、純利益が同31.9%増の7,280万USD。調整後EPSは0.98USDと市場予想の0.92USDを上回った。買収したデュボンの農業事業が寄与。農業ソリューション事業は既存事業ベースで同5%の増収。
  - ・2018/12期4Q(10-12月)会社計画は、調整後EPSが1.33-1.43USD。通期計画は、Liventの上場費用を含め調整後EPSが5.93-6.03USD。通期市場予想は、売上高が前期比62.1%増の46.66億USD、当期利益が同33.6%増の7.15億USD。12/3の説明会で2019-2022年の中期計画を発表。数値目標は、年平均成長率で売上高が5-7%、調整後EBITDAが7-9%。(増測)
- ◇ **マイクロソフト (MSFT) 市場: NASDAQ...2019/1/24に2019/6期2Q(10-12月)の決算発表を予定**
  - ・1975年にビル・ゲイツとポール・アレンが設立した PC ソフトウェア会社。個人・企業向けに基本ソフトウェア(OS)をはじめ、サーバー用アプリケーション、ソフト開発ツールなど提供する。
  - ・10/24発表の2019/6期1Q(7-9月)は、売上高が前年同期比18.5%増の290.84億USD、純利益が同34.2%増の88.24億USD。調整後EPSは1.13USDと市場予想の0.96USDを上回った。
  - ・2019/6期2Q(10-12月)の会社計画は、プロダクティビティ&ビジネスプロセス部門の売上高が99.5-101.5億USD、インテリジェントクラウド部門の売上高が91.5-93.5億USD、モバパーソナルコンピューティング部門の売上高が128.0-132.0億USD。2019/6通期の市場予想は、売上高が前期比13.2%増の1,249.21億USD、当期利益が同2.1倍の344.49億USDである。(増測)
- ◇ **ベライゾン・コミュニケーションズ (VZ) 市場: NYSE...2019/1/29に2018/12期4Q(10-12月)の決算発表を予定**
  - ・1983年設立。米国最大の通信事業者で、全米にファイバーネットワークを形成している。また世界的に次世代通信5G、ブロードバンド、広告、IoT、セキュリティ管理などの事業を展開。
  - ・10/23発表の2018/12期3Q(7-9月)は、売上高が前年同期比2.8%増の326.07億USD、純利益は同35.5%増の50.62億USD。調整後EPSは1.22USDと市場予想の1.18USDを上回った。主力のワイヤレス事業で契約者数が伸び同事業は会計基準変更の影響を除くと同6.1%増収。
  - ・2018/12通期会社計画は、売上高が前期比1桁台前半から中盤の伸び率、調整後EPSが同1桁台前半の伸び率。通期市場予想は、売上高が前期比3.9%増の1,308.96億USD、当期利益が同39.7%減の181.59億USD。同社と韓国のサムスン電子は12/3、2019年前半に5G対応スマートフォンを市場投入すると発表。5G商用化として最初に販売されるスマホとなる。(増測)

(※)決算発表の予定は12/7現在であり、変更される可能性があります。



**フィリップ証券株式会社**

Member of PhillipCapital Group

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

#### 【留意事項】

- 上場有価証券等のお取引の手数料は、国内株式の場合は約定代金に対して上限1.242%(消費税込)(ただし、最低手数料2,160円(消費税込)、外国取引の場合は円換算後の現地約定代金(円換算後の現地約定代金とは、現地における約定代金を当社が定める適用為替レートにより円に換算した金額をいいます。)の最大1.08%(消費税込)(ただし、対面販売の場合、3,240円に満たない場合は3,240円、コールセンターの場合、1,944円に満たない場合は1,944円)となります。
- 上場有価証券等は、株式相場、金利水準等の変動による市場リスク、発行者等の業務や財産の状況等に变化が生じた場合の信用リスク、外国証券である場合には為替変動リスク等により損失が生じるおそれがあります。また新株予約権等が付された金融商品については、これらの権利を行使できる期間の制限等があります。
- 国内金融商品取引所もしくは店頭市場への上場が行われず、また国内において公募、売出しが行われていない外国株式等については、我が国の金融商品取引法に基づいた発行者による企業内容の開示は行われていません。
- 金融商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、お取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料をよくお読みください。

#### 【免責事項】

- この資料は、フィリップ証券株式会社(以下、「フィリップ証券」といいます。)が作成したものです。
- 実際の投資にあたっては、お客様ご自身の責任と判断においてお願いいたします。
- この資料に記載する情報は、フィリップ証券の内部で作成したか、フィリップ証券が正確且つ信頼しうると判断した情報源から入手しておりますが、その正確性又は完全性を保証したものではありません。当該情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。この資料に記載する内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- この資料を入手された方は、フィリップ証券の事前の同意なく、全体または一部を複製したり、他に配布したりしないようお願いいたします。

WEB